

SHIBUYA QWS  
QWS アカデミア  
～東京大学企画～

「この地において、そもそも、何を研究すべきか？」

多様な場所がもつそれぞれの固有性を、今、どのように理解し、どのように伝えるのか？

北海道大樹町における、UTokyo Ushioda Memu Earth Lab の取り組みを通し、

多様な媒体を介して、同じ場所を何度も読み続けることから生まれる、

場所が語りかける研究への問いを考えます。



MEMU EARTH LAB



UTokyo  
FSI  
Symposium



## Details

日時: 2020/12/17(木) 18:00～20:00  
場所: 渋谷スクランブルスクエア 15階 Cross Park (Closed to Public)  
オンライン配信 (Zoom Webiner Open to Public)  
公開: 下記QRコードより参加登録願います。



対象: 社会人、大学生、大学院生、高校生 (オープンイベント・無料)  
言語: 日本語  
問合せ先: 東京大学本部社会連携推進課  
shakairenkeika.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp  
UTokyo Ushioda Memu Earth Lab  
<https://memuearthlab.jp/>  
主催: SHIBUYA QWS Innovation 協議会  
国立大学法人東京大学

## Schedules

18:00 Opening Remarks  
趣旨説明: 津田 敦副学長 / 会場説明: 野城智也教授

18:10 Memu Earth Lab Presentation

1:	「Memu?」	メムという場所の経緯と活動の紹介
2:	「Sounding」	音を介すると、メムはどう再読できるか?
3:	「Nourishing」	糧を介すると、メムはどう再読できるか?
4:	「Memu Radio」	場所の声はどう響くか?
5:	「OTOCARE」	音は誰に届くのか?
6:	「Research Retreat」	場所に参画する

19:15 Open Discussion 「学と、固有の場の将来とは?」

Navigator: 津田 敦副学長  
Voices: 野城智也教授、今井公太郎教授、安原 幹教授  
松永行子准教授、藤原章雄助教  
野村昌広社長 (Memu Earth Hotel)

19:55 Closing Remarks  
「メムが問う」 隈 研吾特別教授